

2021年5月26日

2021年3月期 決算説明会

麻生フォームクリート株式会社

<https://www.asofoam.co.jp/>



I . 2021年3月期 決算概要

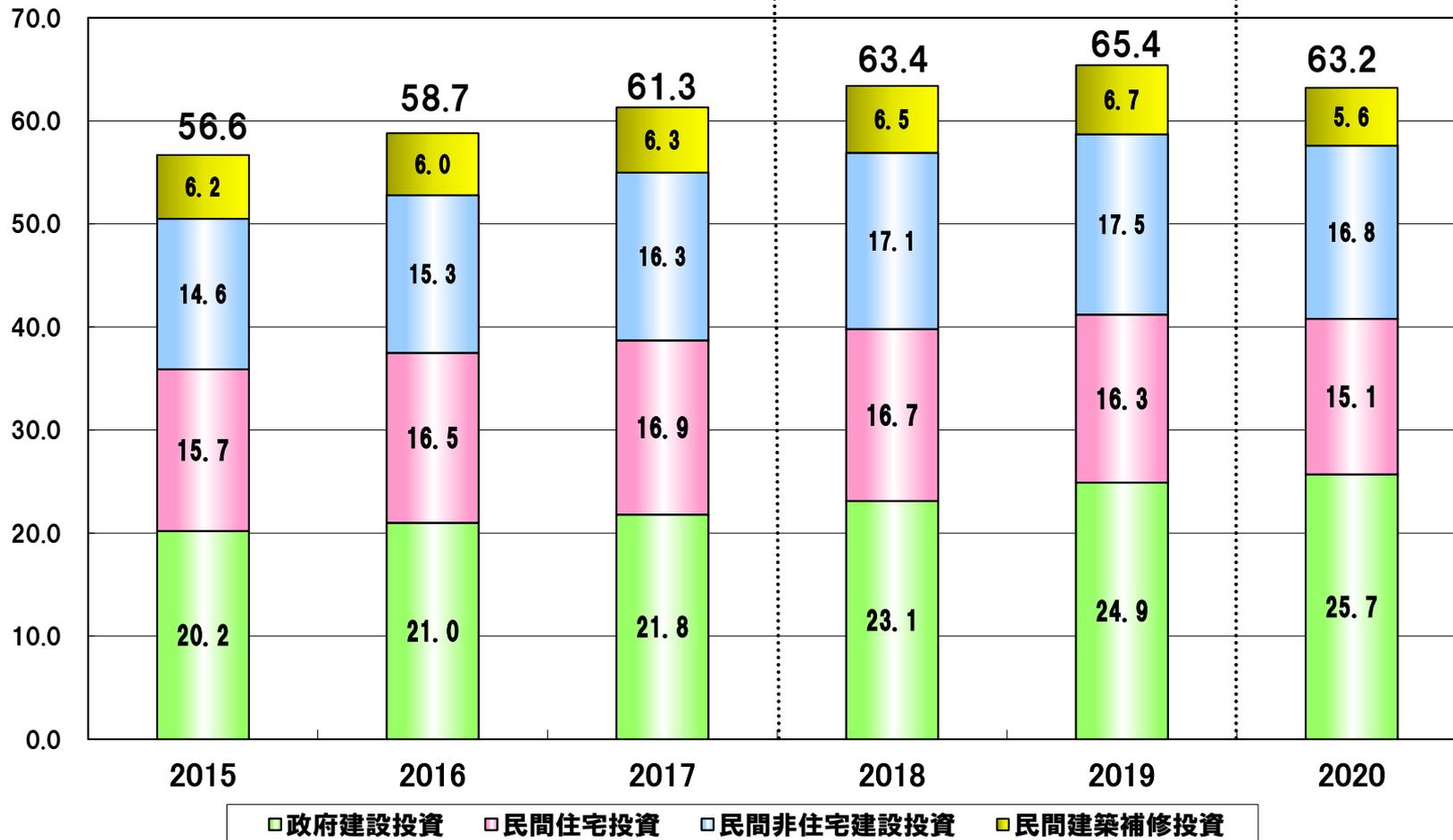
2021年3月期業績ハイライト

(単位：百万円)

	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期		対計画 増減額	対前期 増減額
	実績	実績	実績	実績	計画	実績		
受注高	3,944	3,880	4,365	4,139	4,707	4,091	△616	△48
売上高	3,984	3,773	4,282	4,030	4,700	4,623	△77	593
営業損益	129	△112	40	64	110	215	105	151
経常損益	143	△104	49	69	115	223	108	154
当期純損益	148	△141	30	39	80	153	73	114

■ 名目建設投資の推移（年度）

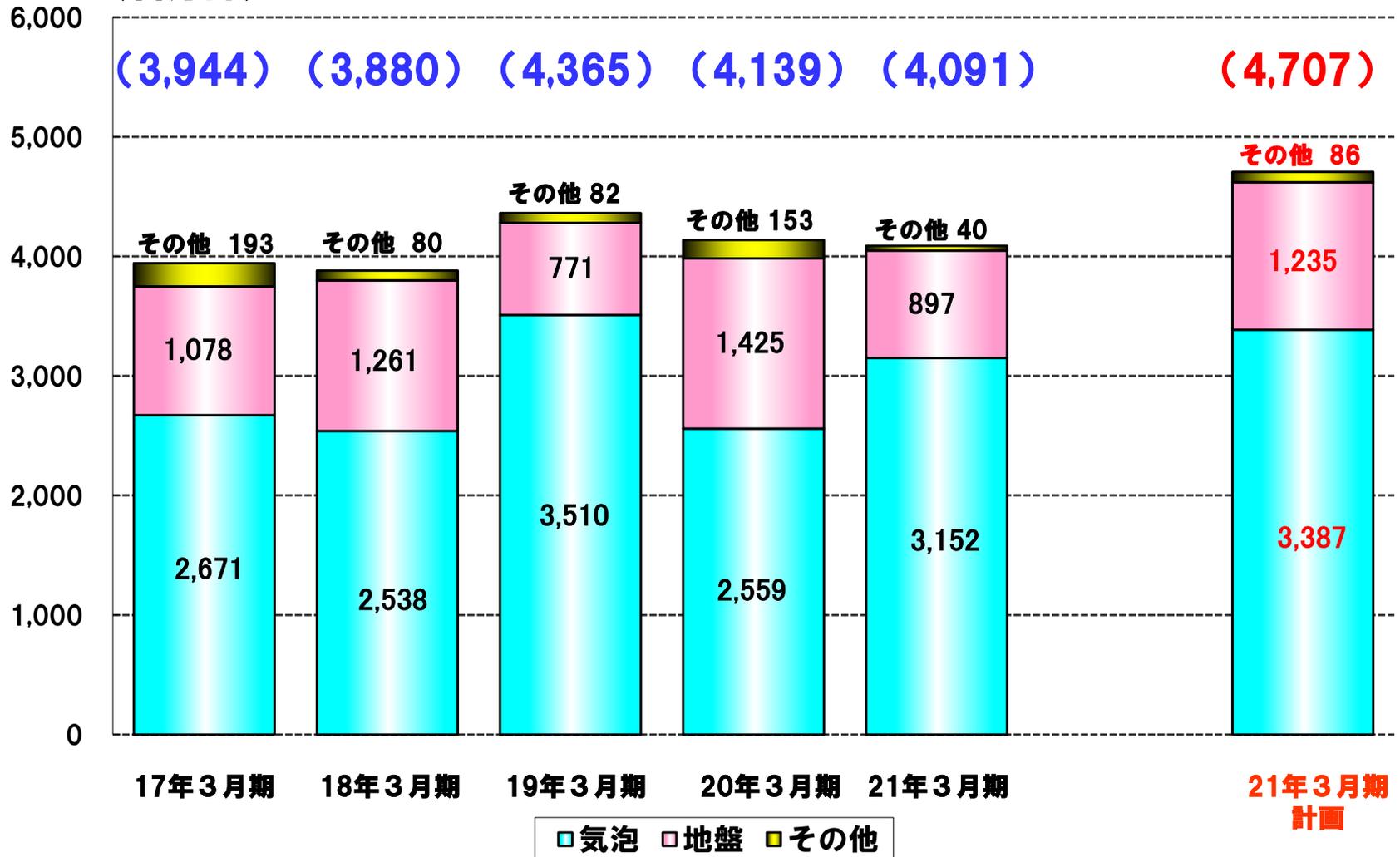
（単位：兆円）



参考：（財）建設経済研究所
 建設経済モデルによる建設投資
 2021年4月28日発表より

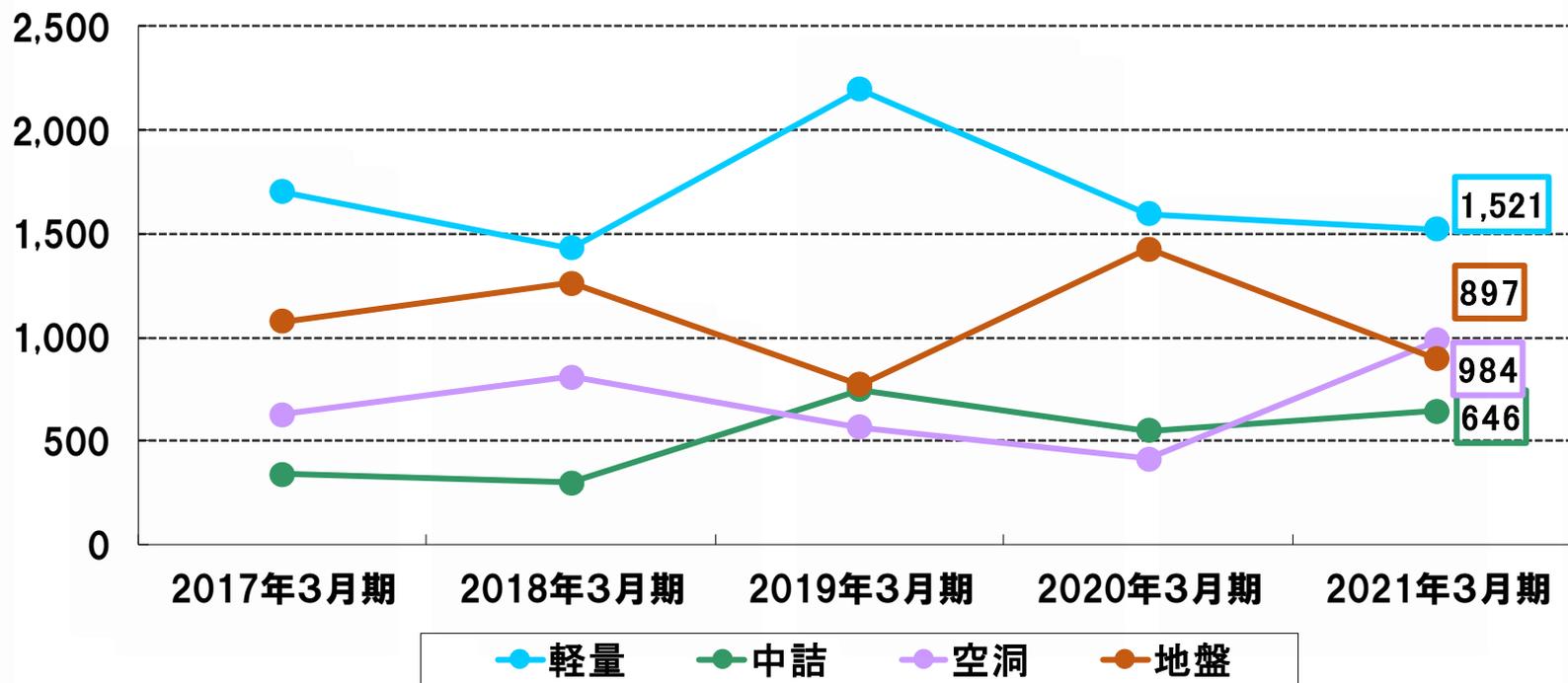
受注高

(百万円)



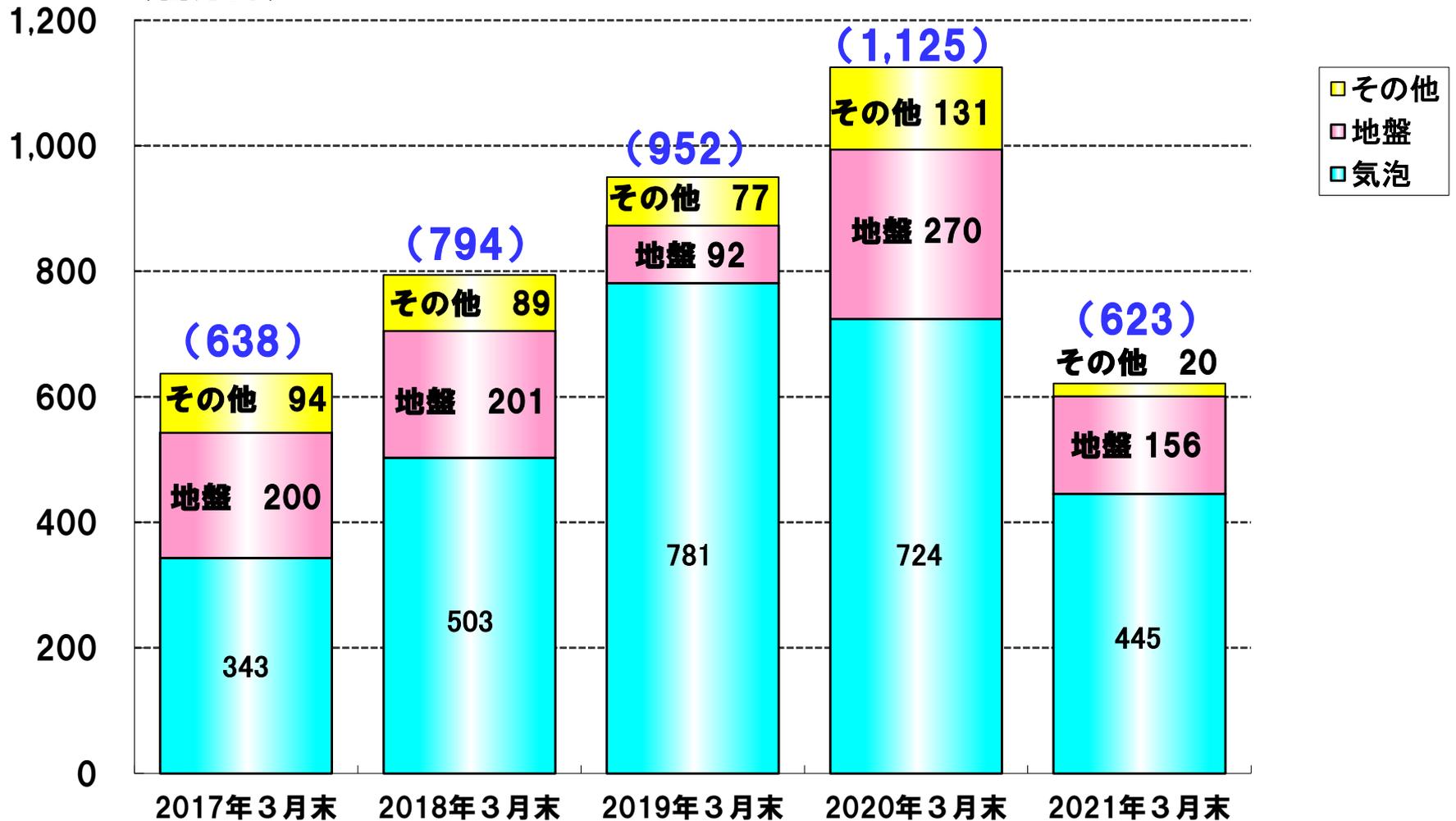
受注高推移

(百万円)



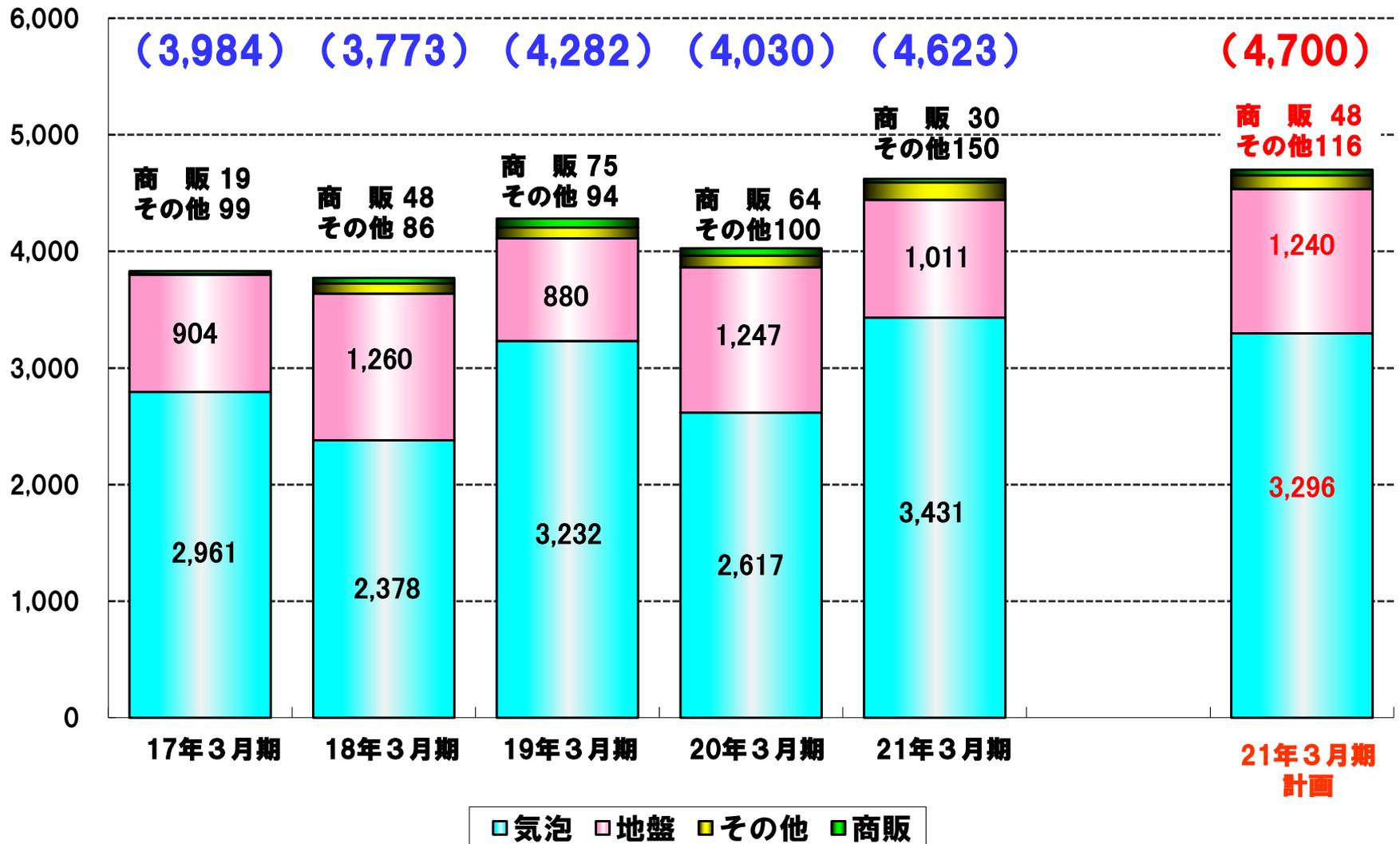
繰越工事高

(百万円)



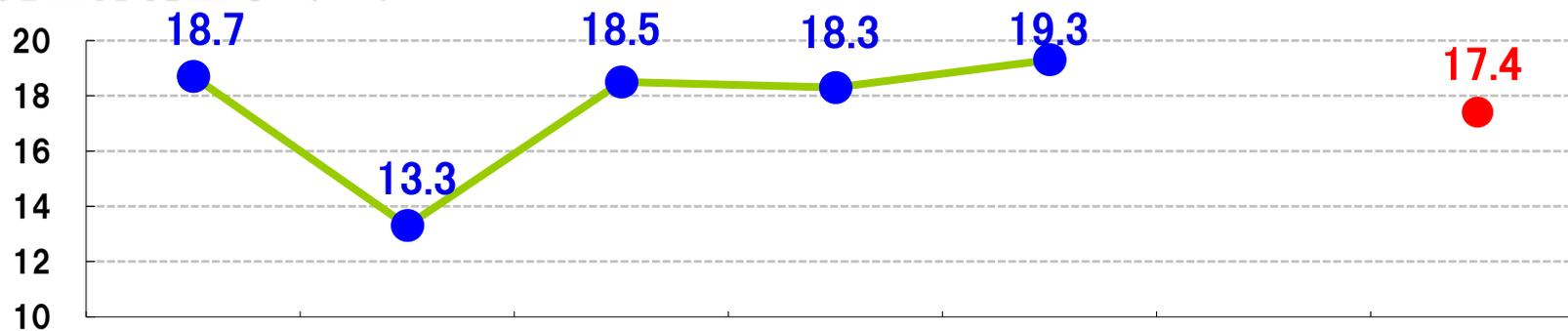
売上高

(百万円)

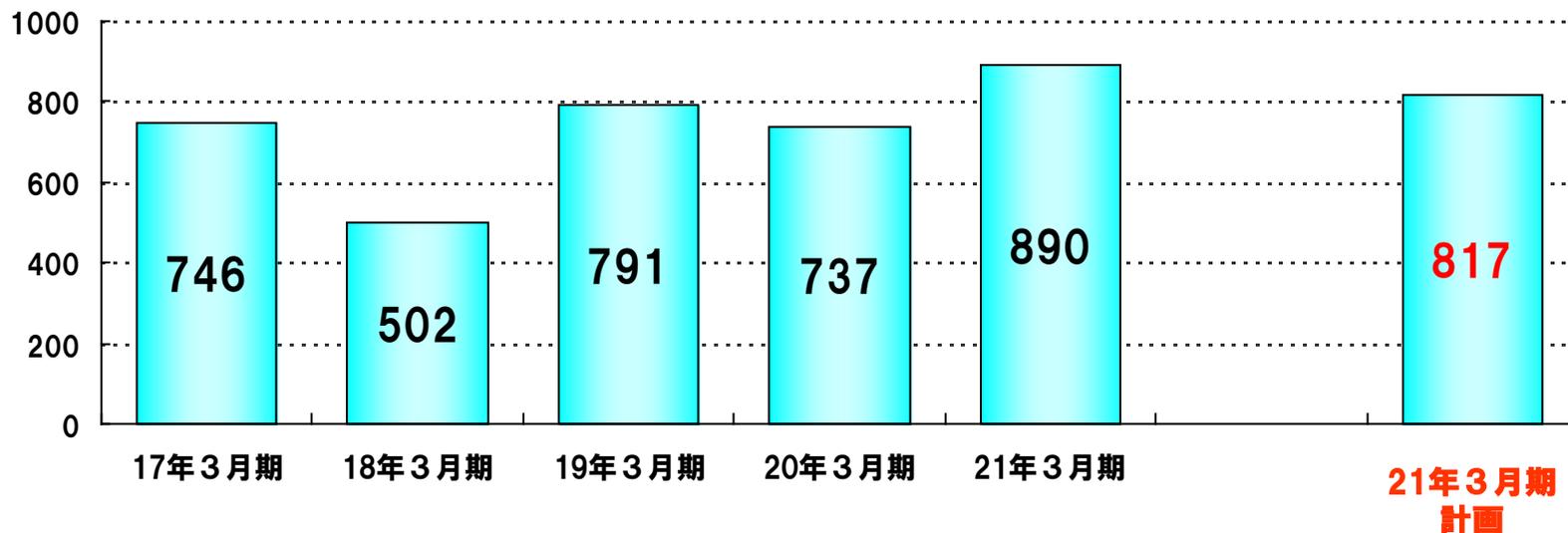


売上総利益

■売上総利益率 (%)

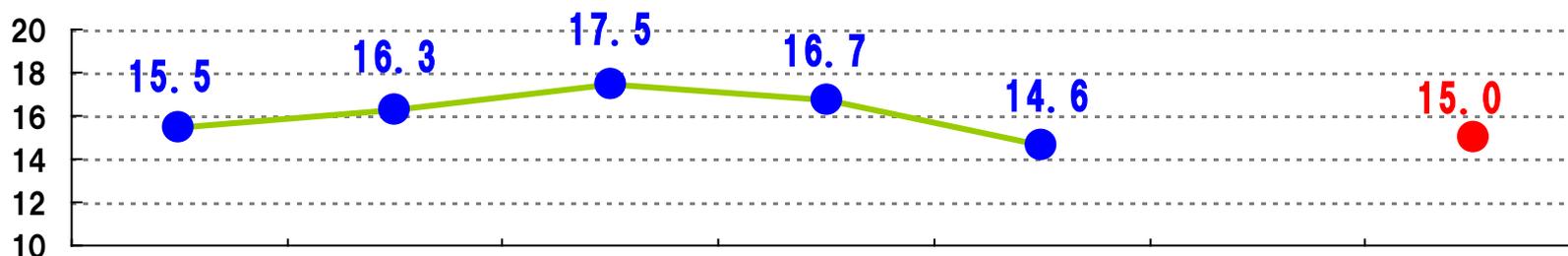


■売上総利益 (百万円)

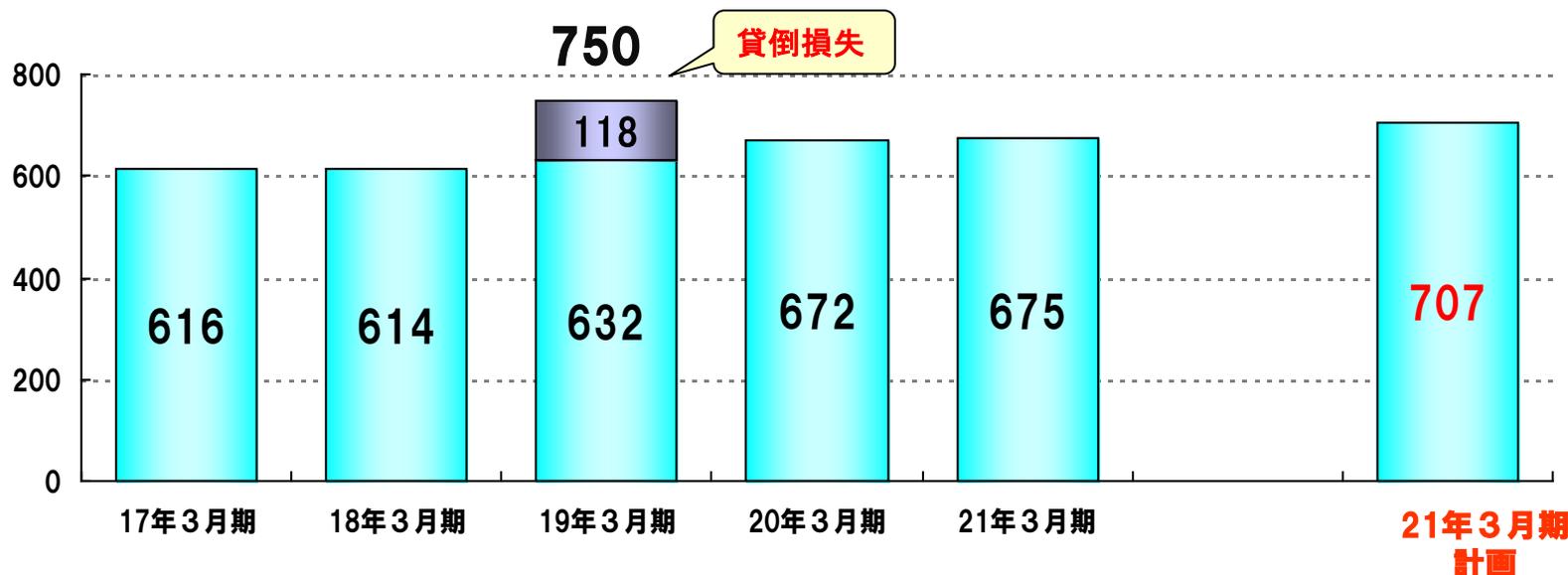


販売費及び一般管理費

■売上高販管费率（％）

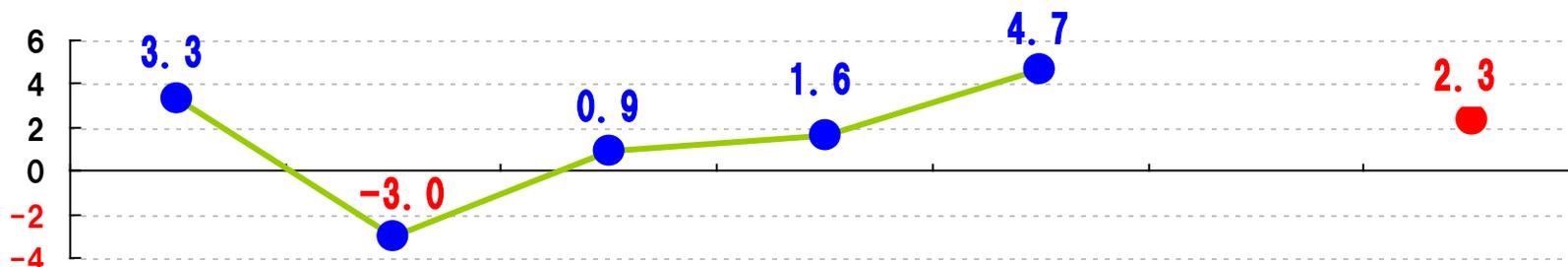


■販売費及び一般管理費（百万円）

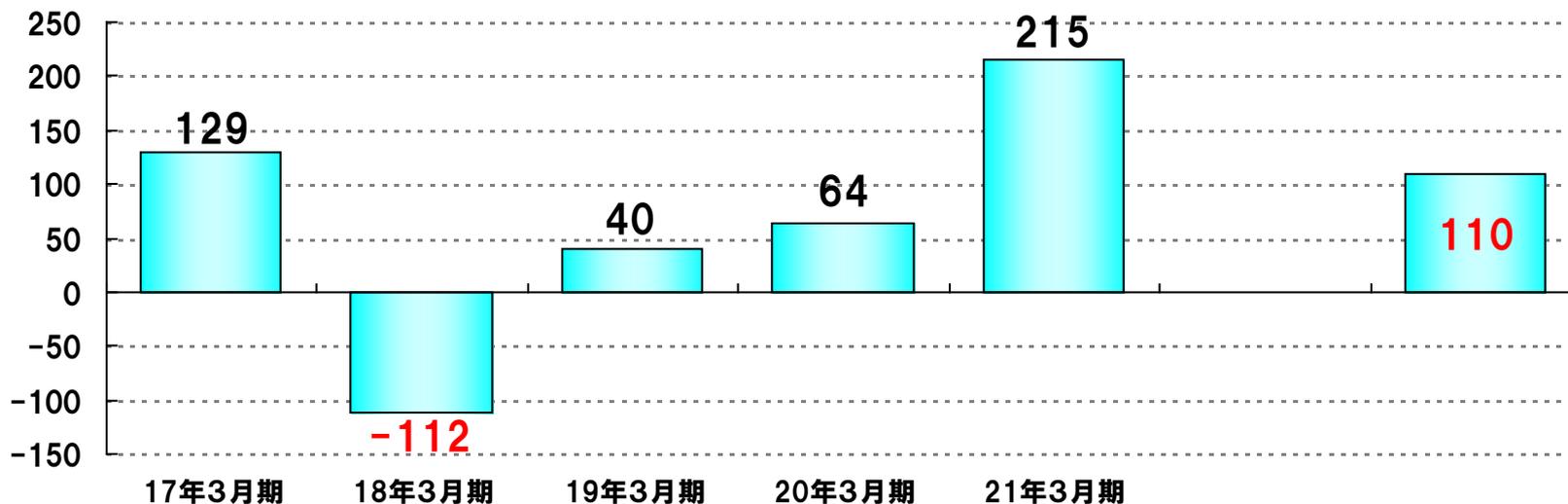


営業損益

■売上高営業利益率 (%)



■営業利益 (百万円)



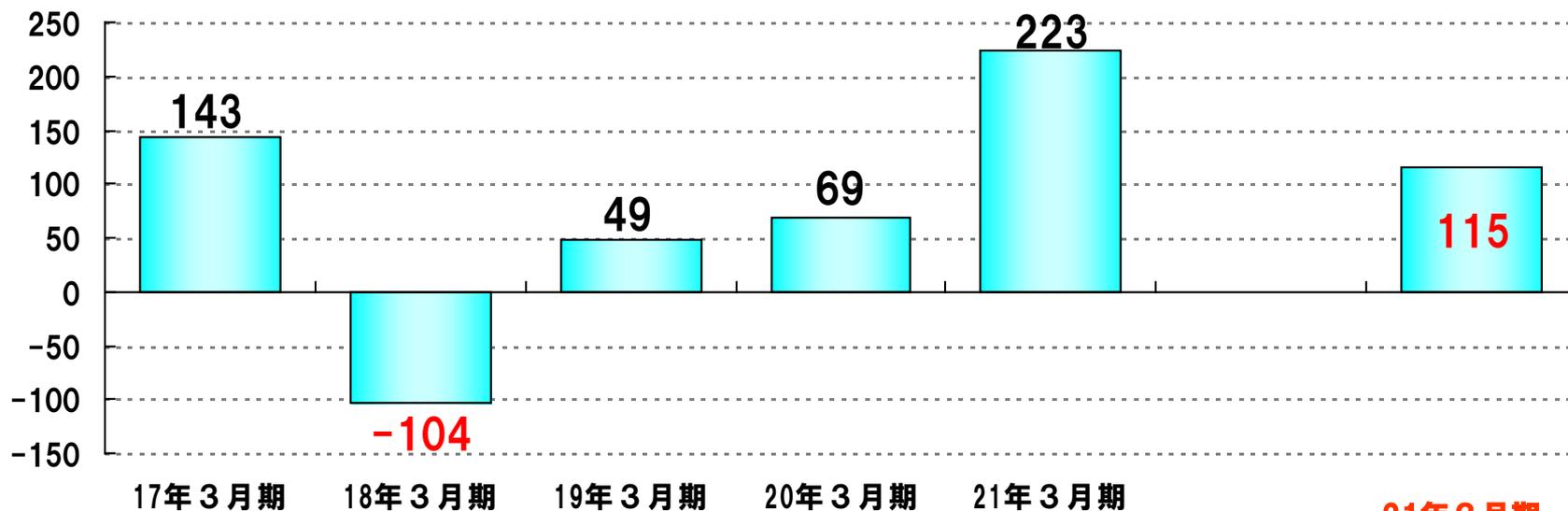
21年3月期
計画

經常損益

■売上高經常利益率（％）



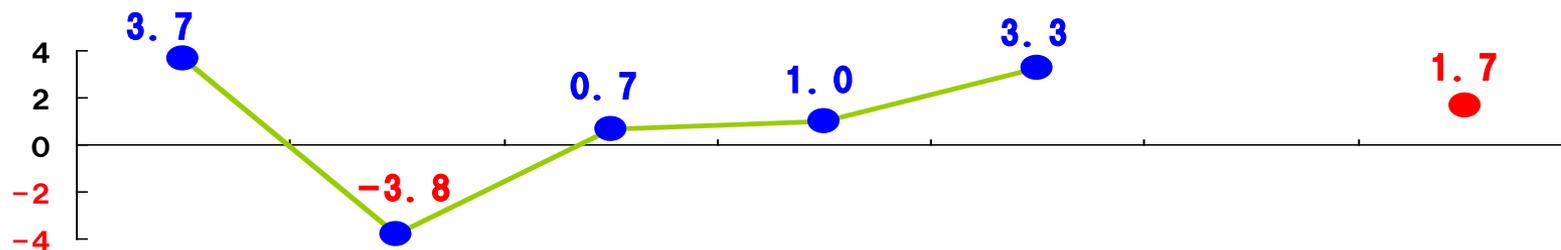
■經常利益（百万円）



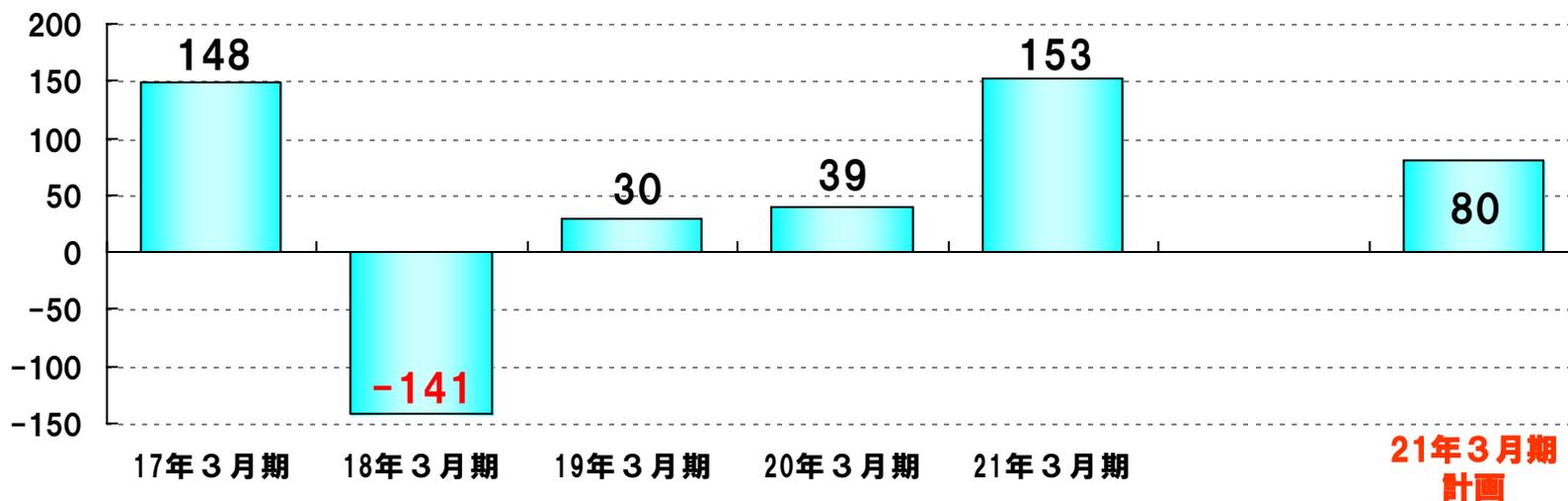
21年3月期
計画

当期純損益

■売上高当期純利益率 (%)



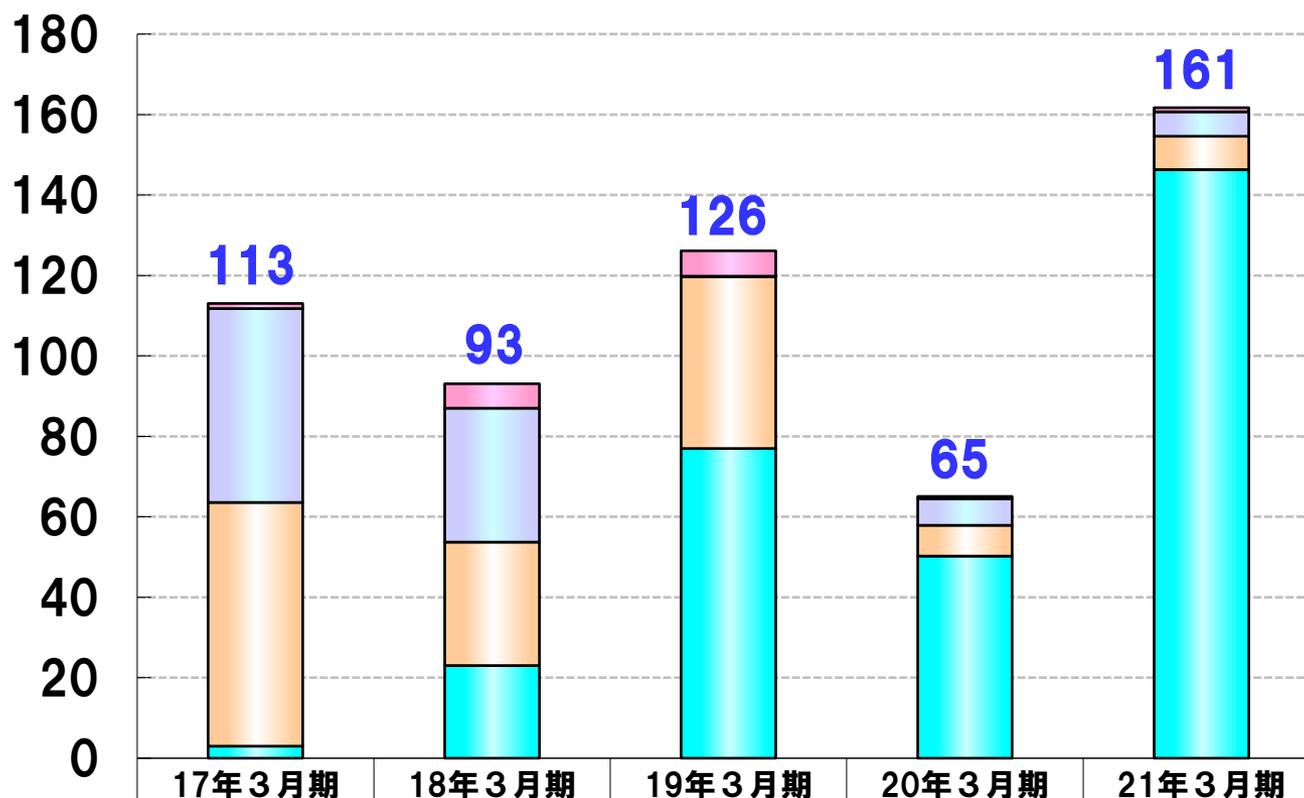
■当期純利益 (百万円)



ROE	10.3	—	2.3	3.0	10.8
-----	------	---	-----	-----	------

設備投資

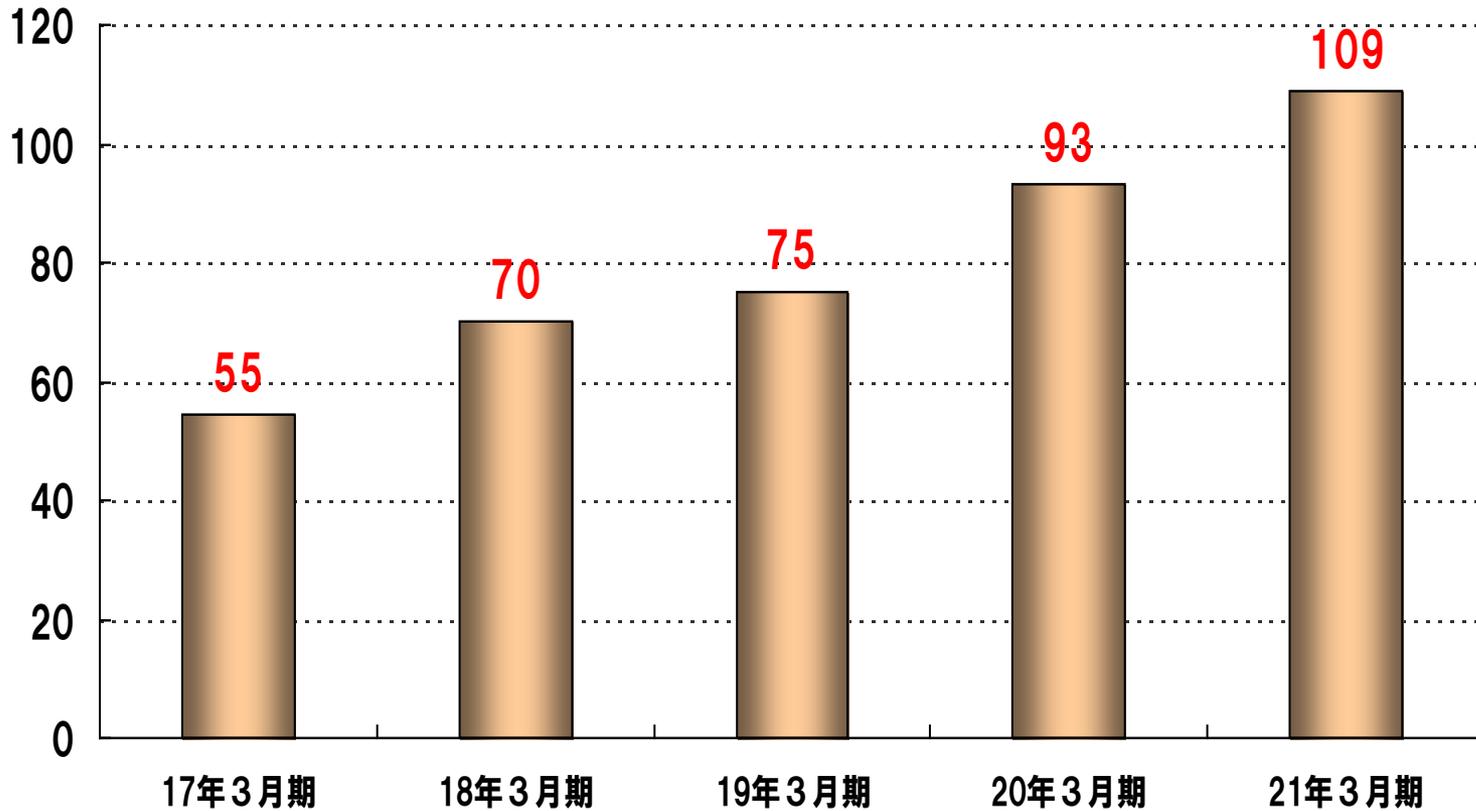
(百万円)



	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期
□環境対策	1.3	6.1	6.3	0.6	1.0
□合理化・省力化	48.2	33.3	0.1	6.6	6.1
□更新・維持・補修	60.6	30.7	42.7	7.7	8.3
□能力増強	3.0	23.0	77.0	50.2	146.3

減価償却費

(百万円)



貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末
流動資産	2,022	2,554	2,049	1,787	1,889
(売掛債権)	(1,021)	(1,055)	(1,242)	(1,189)	(1,129)
固定資産	1,547	1,640	1,672	1,625	1,657
総 資 産	3,570	3,195	3,721	3,413	3,546
流動負債	1,422	1,220	1,696	1,436	1,337
固定負債	648	647	687	622	713
純資産	1,500	1,327	1,337	1,354	1,496
(自己資本比率)	(42.0%)	(41.5%)	(35.9%)	(39.7%)	(42.2%)

キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
営業活動による キャッシュ・フロー	△15	△270	390	11	210
投資活動による キャッシュ・フロー	△46	△57	△37	△136	△51
財務活動による キャッシュ・フロー	△188	△29	△8	△85	△4
現金及び現金同等物の 増加・減少(△)額	△251	△357	344	△211	154
現金及び現金同等物の 期首残高	983	732	374	719	508
現金及び現金同等物 期末残高	732	374	719	508	663



市場動向

市場環境の現状認識

キーワード インフラ整備の立ち遅れ

脆弱な日本、貧弱な日本のインフラ整備水準、失われる日本の豊かさ、これらの対策に必要な公共投資に対する国会答弁で、5か年で15兆円という防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策も確保、またインフラの耐震対策というのは、人的被害や短期的な経済被害だけではなくて、長期的な経済被害の損失の防止という観点からも極めて重大(大臣答弁より)

これまでのパッシブな姿勢から一歩踏み込んだアクティブな対策の必要性を認識

これらの政策実現に向けての財政的な裏付として、
公共事業予算については、厳しい財政事情も踏まえつつ、政策効果を高めるために重点化、効率化を図るとともに、公共投資については国民が生活の豊かさを実感し、国の将来は明るいと思える社会を実現する
(財務省国会答弁)

2. 重点的に取り組む対策・事業規模

○対策数：123対策

○追加的に必要となる事業規模：おおむね15兆円程度を目途

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策 [78対策]	おおむね12.3兆円程度
(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策 [50対策]	
(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策 [28対策]	
2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策 [21対策]	おおむね2.7兆円程度
3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進 [24対策]	おおむね0.2兆円程度
(1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化 [12対策]	
(2) 災害関連情報の予測、収集・集積・伝達の高度化 [12対策]	
合 計	おおむね15兆円程度

うち国土交通省でおおむね9.4兆円程度

建設分野のトピックス

国土交通省の各地方整備局、北海道開発局、内閣府の沖縄総合事務局が、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」を発表

直轄国道76事業の見通し公表と共に、
「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を基にした

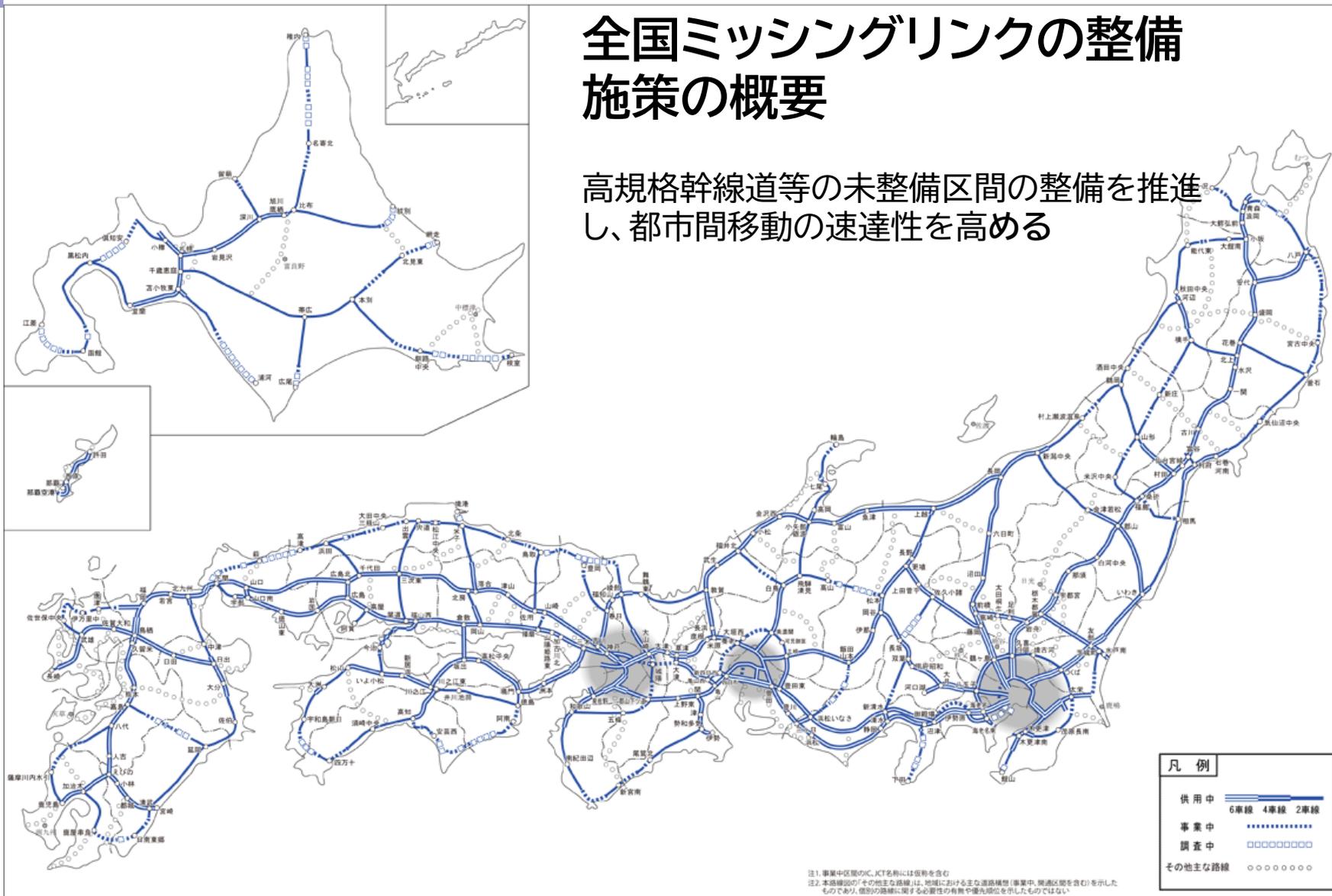
①災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築、②道路の老朽化対策、③河川隣接構造物の流失防止対策、④高架区間などの浸水避難場所としての活用、⑤道路法面・盛土による土砂災害防止対策、⑥無電柱化の推進、⑦ITを活用した道路管理体制の強化、
の7つの取り組みに関する事業を公表

これらの施策は、弊社の事業収益の柱となる工法に寄与する内容が盛り込まれており、今後中長期的な仕事量を確保する後押しとなることが期待される。

例えば、「災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築」については、5か年加速化対策により、高規格道路のミッシングリンク約200区間のうち約3割で全線または一部区間を2025年度までに開通することなどを達成目標に掲げている。

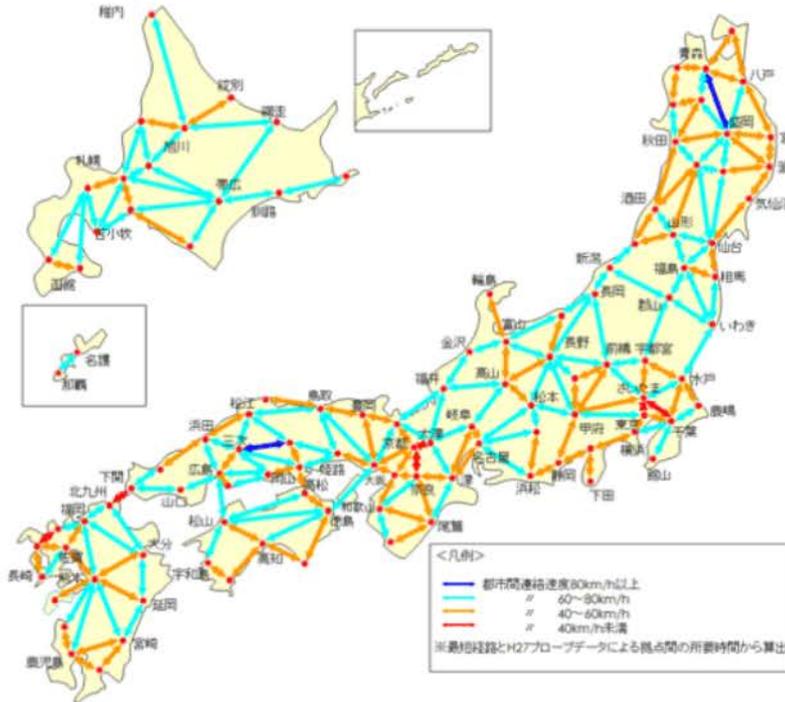
全国ミッシングリンクの整備 施策の概要

高規格幹線道等の未整備区間の整備を推進し、都市間移動の速達性を高める



平成31年4月1日時点

ミッシングリンクが残る区間



<都市間連絡速度>

都市間移動の速達性では、高速道路が未整備の地域で遅い傾向

都市間連絡速度: 都市間の最短道路距離を最短所要時間で除したもの

対象都市 : 拠点都市及び一定の距離離れた人口5万人以上の都市及び主要港湾

拠点都市 : 日本: 都道府県庁所在地(北海道: 旧支庁)、独: 州都、仏: 地方圏庁所在地、英: 地域開発庁(RDA)、中国: 省都・直轄市、韓国: 特別市・広域市・道庁所在地

所要時間 : 所要時間経路探索システム(Google Maps等)による。(但し日本は民間プローブデータの実勢速度による)

【都市間連絡速度の国際比較】

	日本	ドイツ	フランス	イギリス	中国	韓国
平均 連絡速度	59km/h	95km/h	95km/h	79km/h	79km/h	61km/h

インフラ老朽化対策も急務

建設後50年を経過する社会資本の割合

	2018年3月	2023年3月	2033年3月
道路橋 [約7.3万橋（橋長 2m以上の橋）]	約25%	約39%	約63%
トンネル [約1万1千本]	約20%	約27%	約42%
下水道管きよ [総延長：約4.7万 km]	約4%	約8%	約21%

北海道

道東自動車道 軽量盛土

トンネル老朽化対策

液状化対策、地盤補強

北海道新幹線

東北

東北中央自動車道 軽量盛土

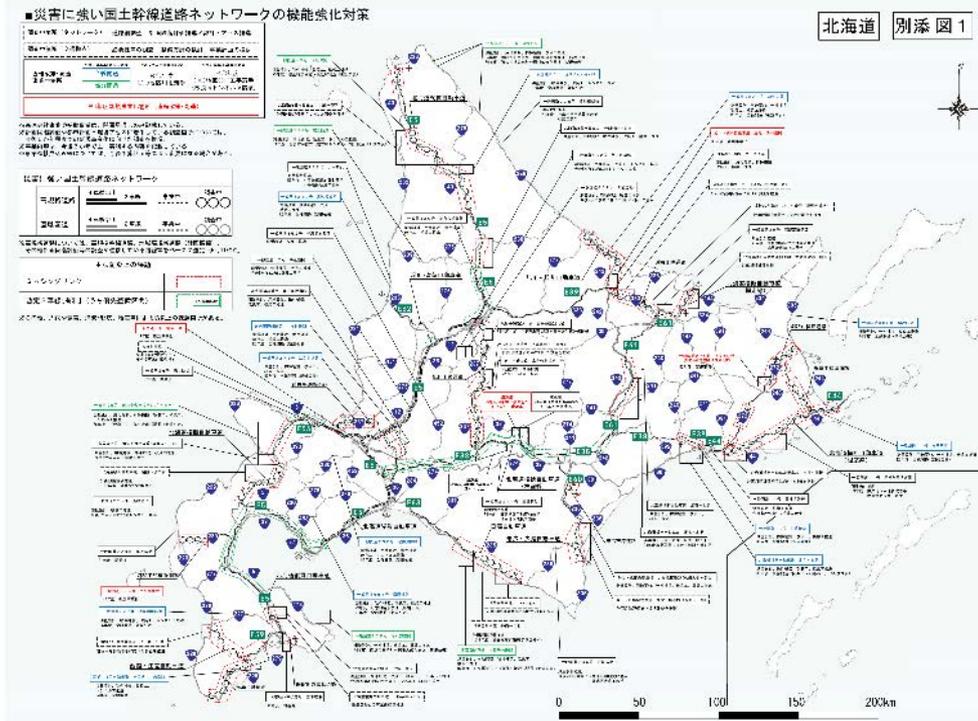
東北中央自動車道（東根～尾花沢）の整備

トンネル老朽化対策

高速道路ミッシングリンク解消 日本海沿岸東北自動車道

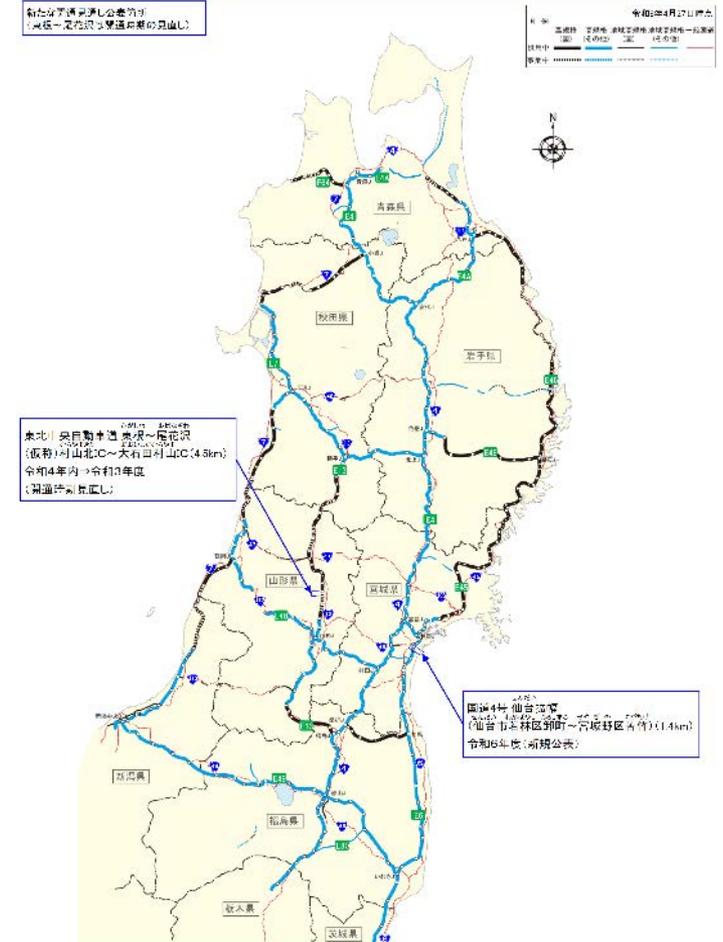


以下、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」より



東北地方整備局の道路事業の開通見通し

別紙2



関東

新東名高速道路 軽量盛土

東京都水道局 導水管、送水管整備計画

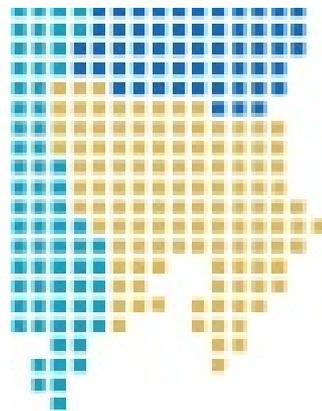
シールド工事

高速道路ミッシングリンク解消

民間プロジェクト

リニア中央新幹線関連 仮設道路、地盤改良

ライフライン整備（ガスパイプライン）など



関東

茨城 栃木 群馬

埼玉 千葉 東京

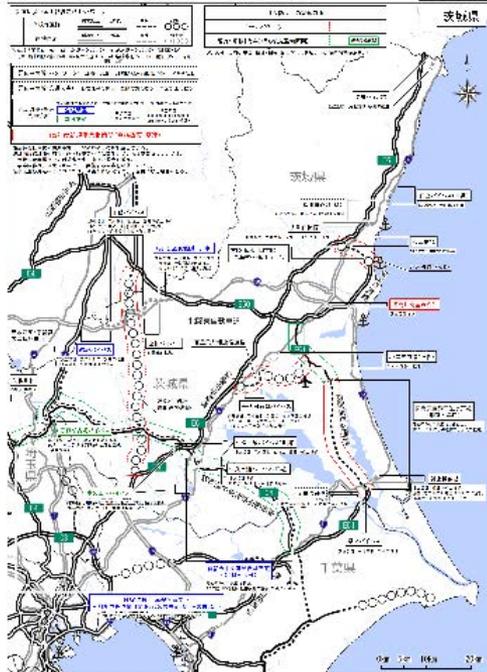
神奈川



以下■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

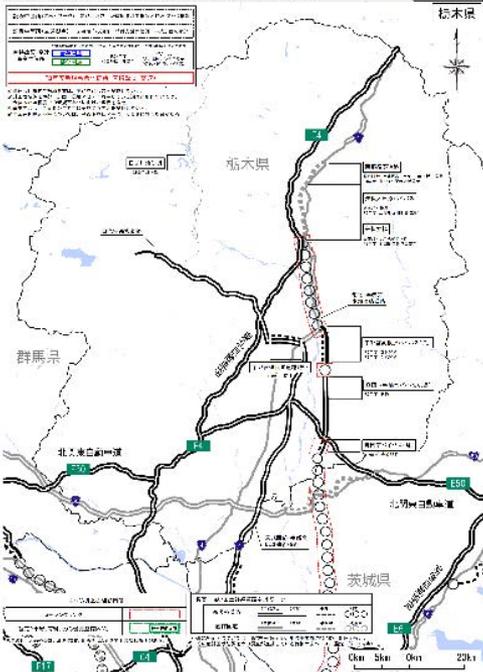
■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

別添 図1



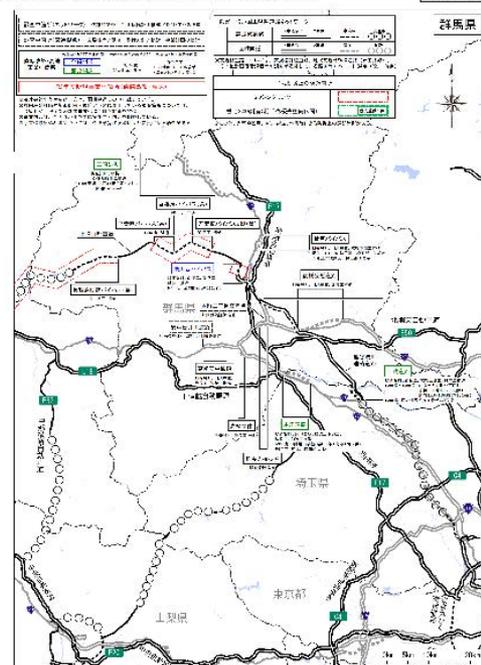
■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

別添 図1



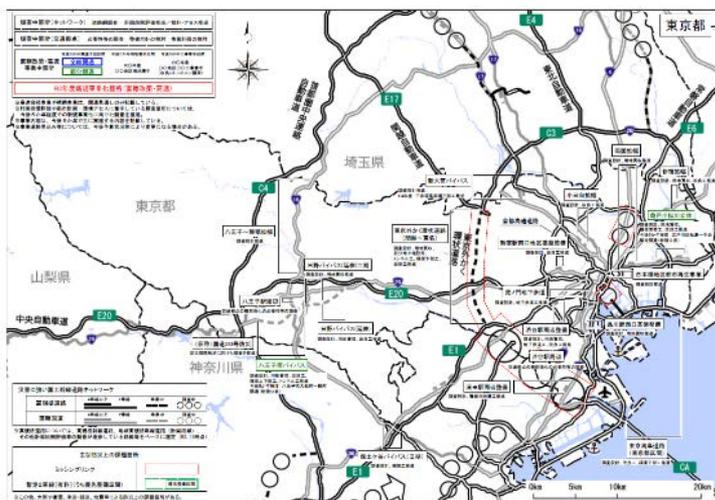
■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

別添 図1



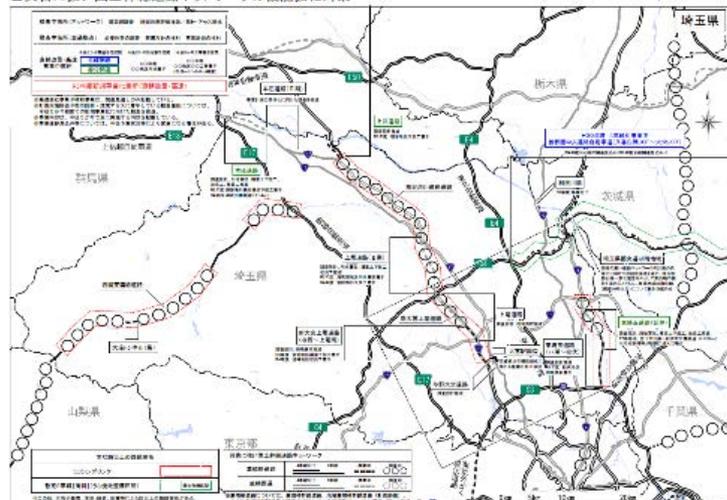
■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

別添 図1



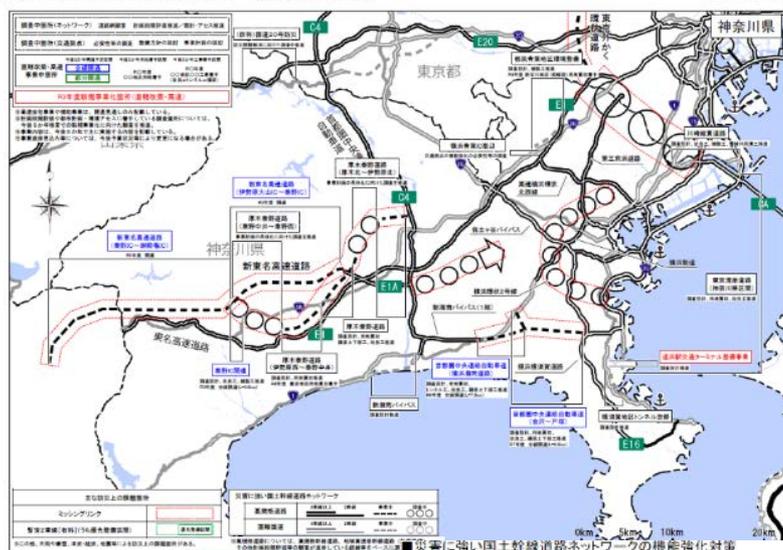
■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

別添 図1



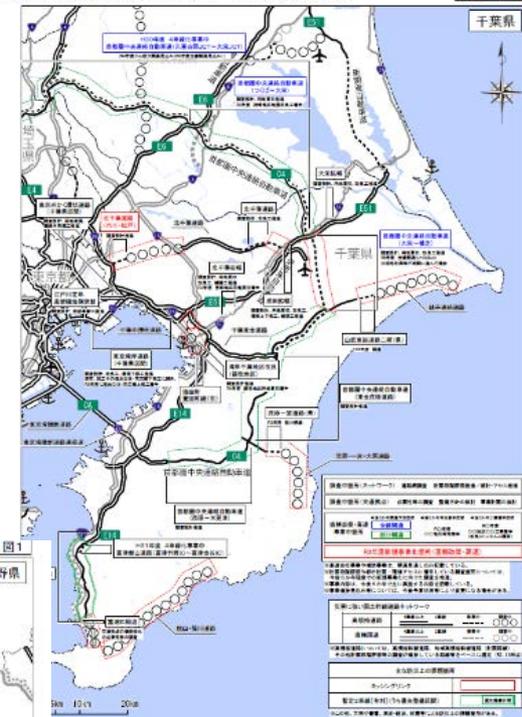
■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

別添 図1

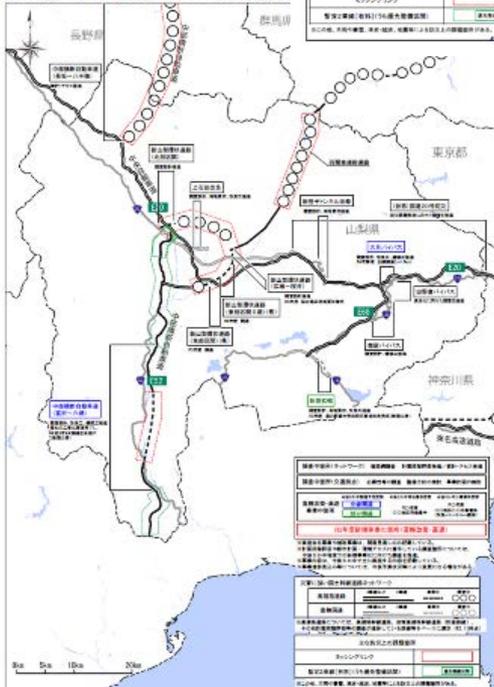


■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

別添 図1

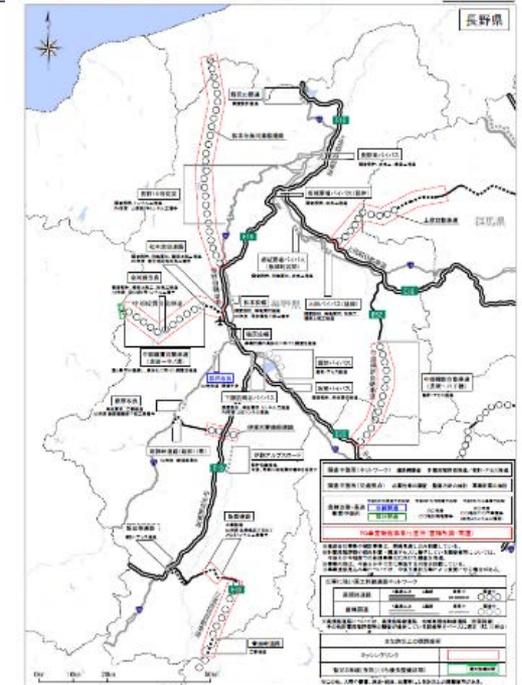


■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化



■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

別添 図1



中部

新潟 富山 石川
福井 山梨 長野
岐阜 静岡 愛知

中部

リニア中央新幹線関連 仮設道路、地盤改良

高速道路 付加車線

高速道路ミッシングリンク解消

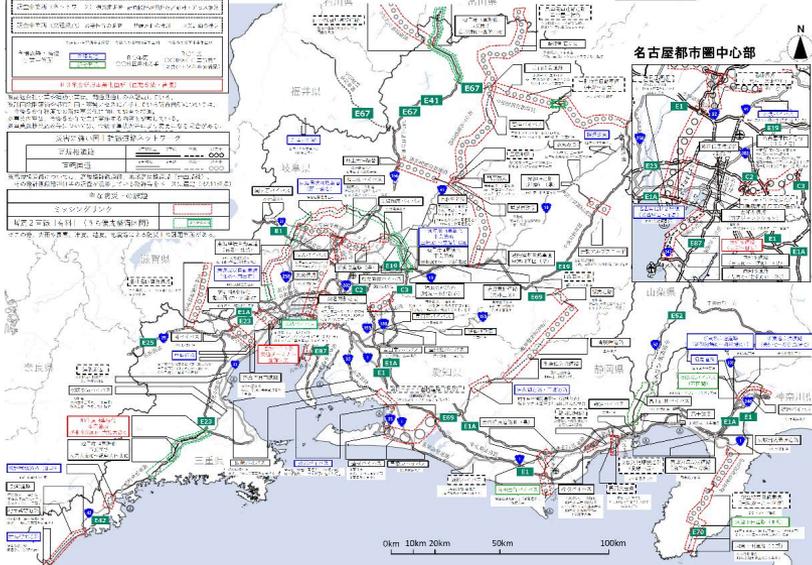
水資源、農水関連事業（導水トンネル改修）

北陸新幹線延伸工事



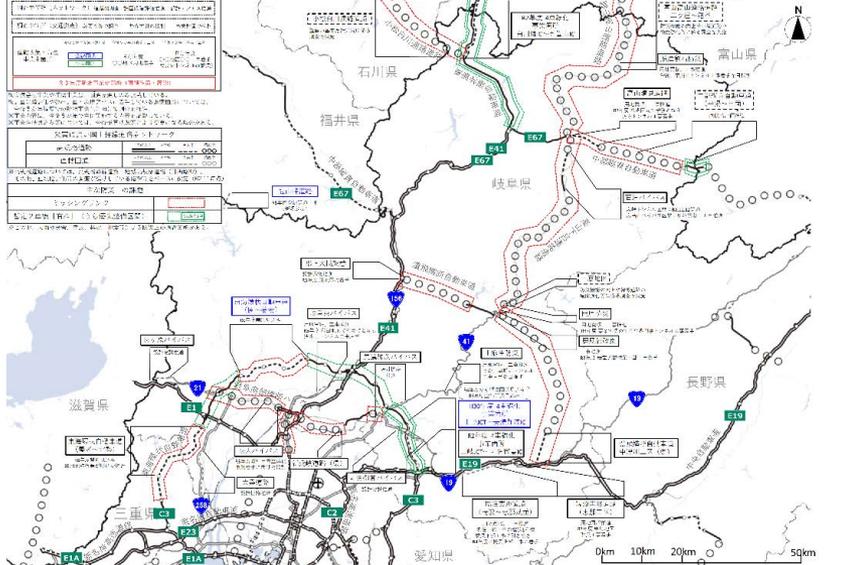
■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

別添図1 中部ブロック



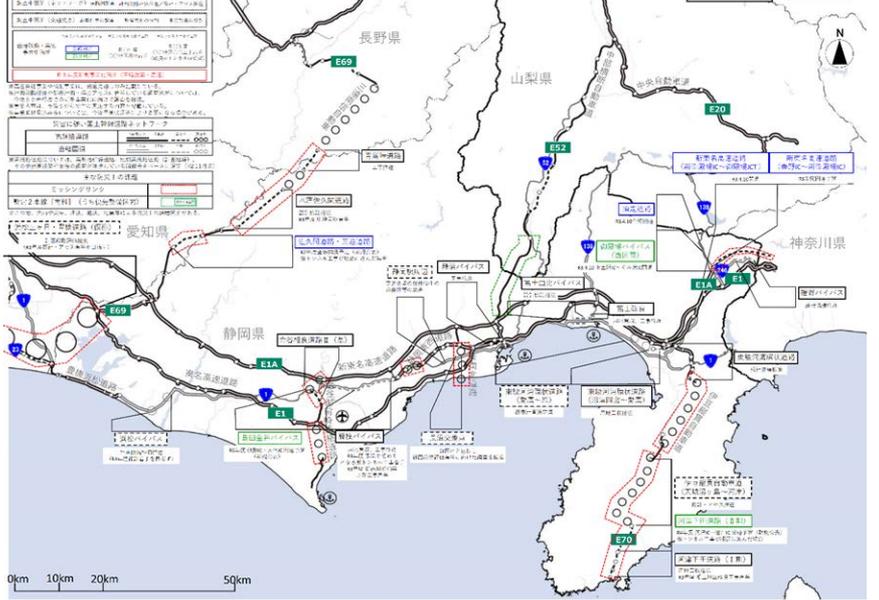
■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

別添図1 岐阜県

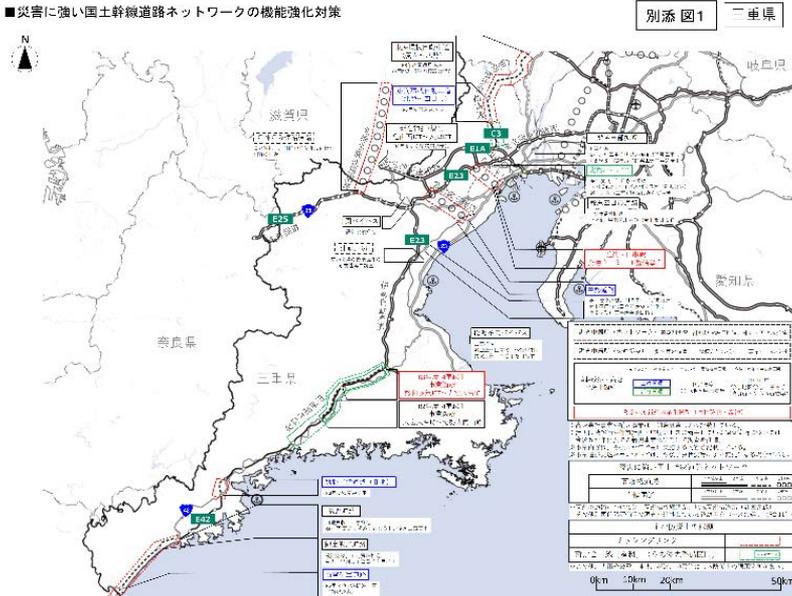


■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

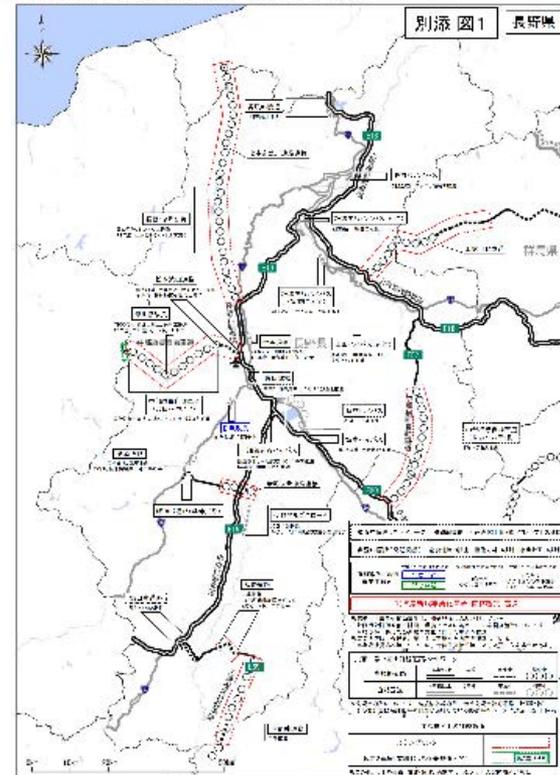
別添図1 静岡県



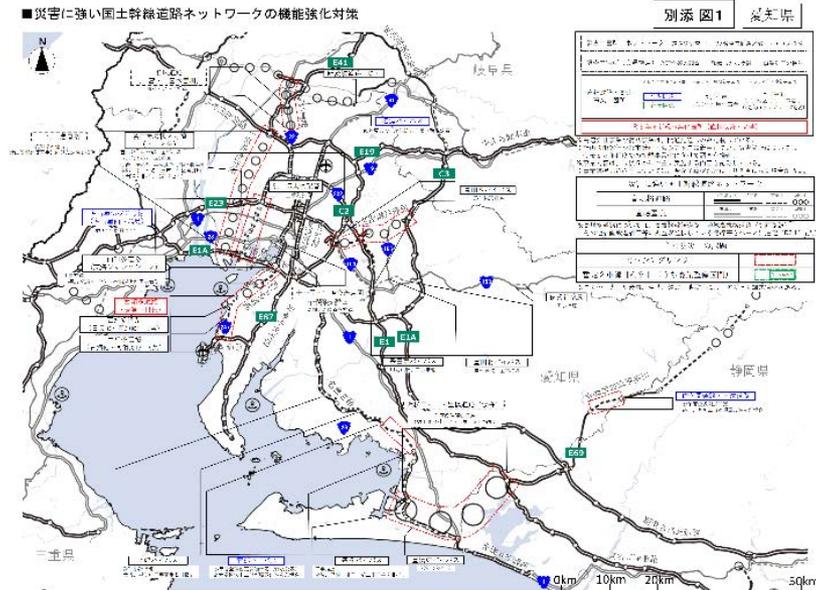
■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策



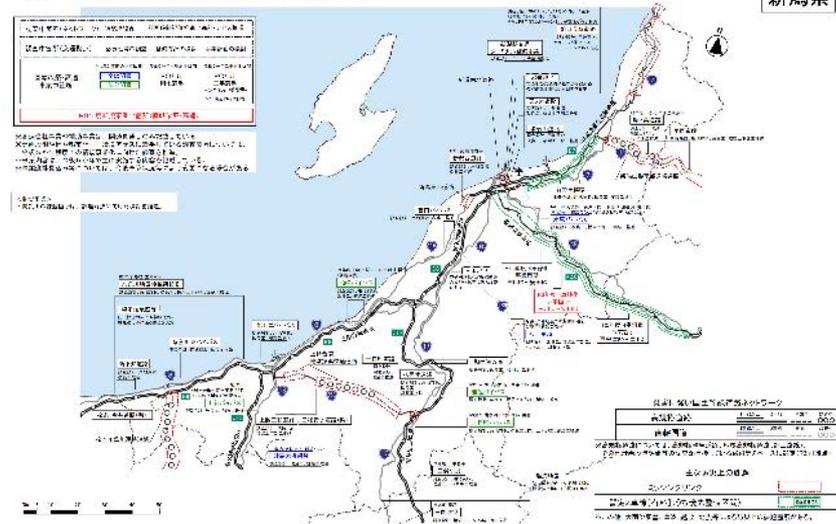
■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策



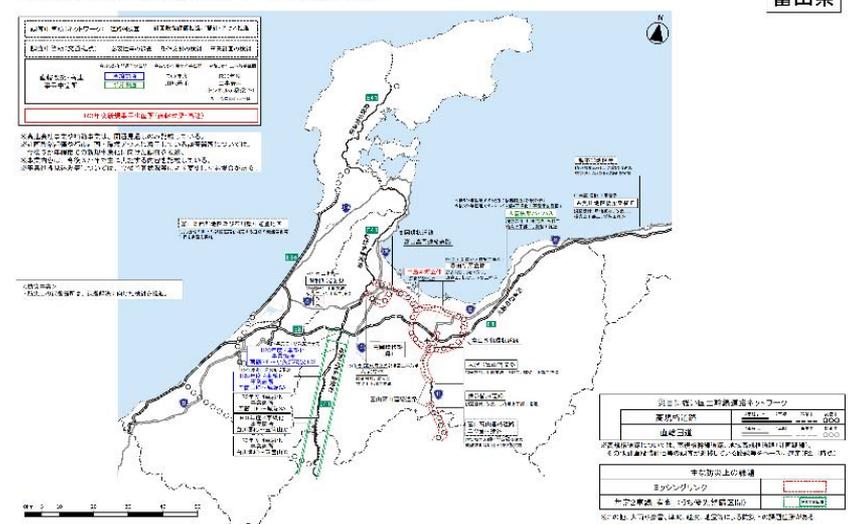
■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策



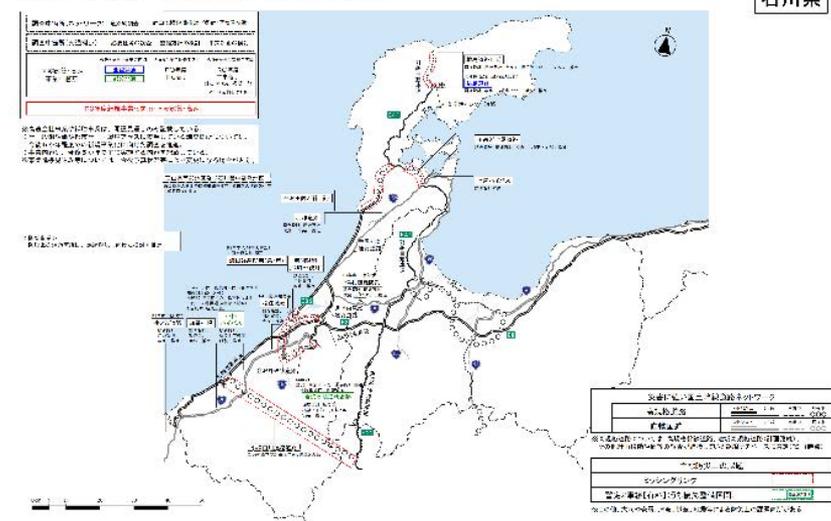
■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策



■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策



■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策



近畿

新名神高速道路

大津～高槻間 HYSC工法

高速道路ミッシングリンク解消

(阪和、紀勢自動車道など)



国道バイパス関連 軽量盛土

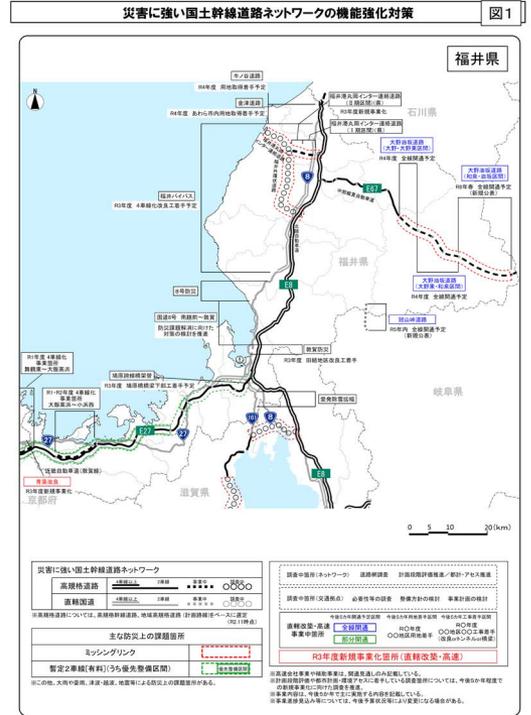
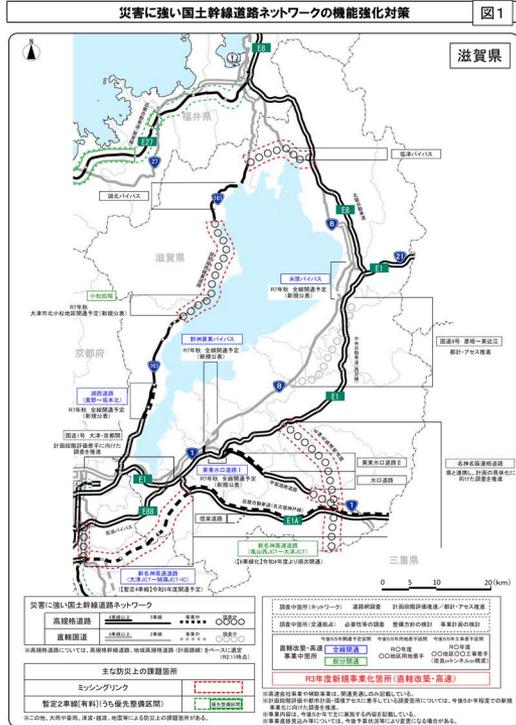
近畿

三重 滋賀 京都
大阪 兵庫 奈良
和歌山



大阪万博

地盤補強、液状化対策





中国・四国

インフラ老朽化対策

高速道路ミッシングリンク解消

(山陰自動車道、

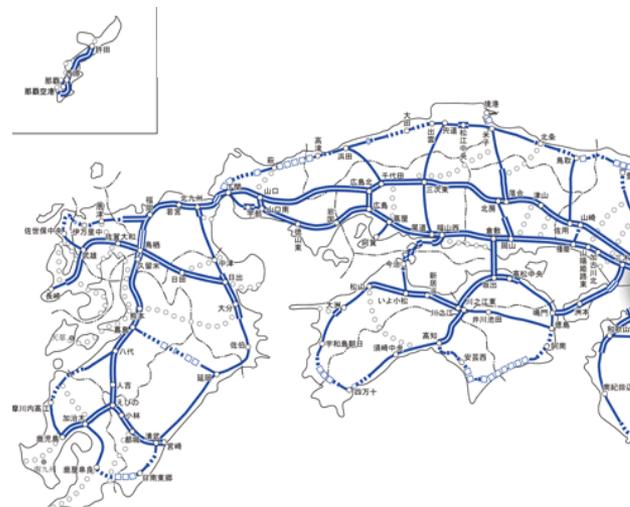
四国横断自動車道)

九州・沖縄

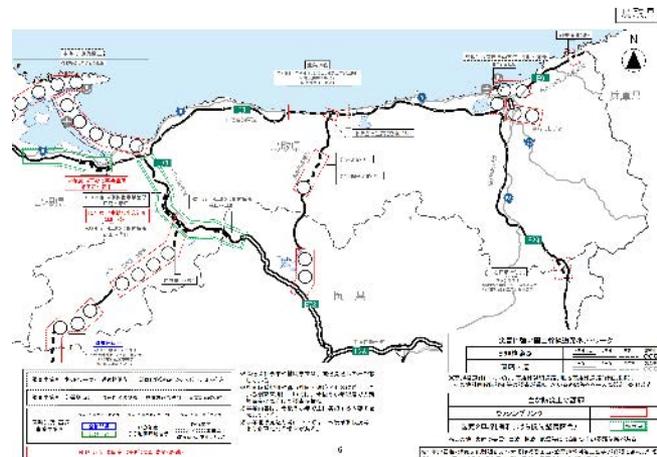
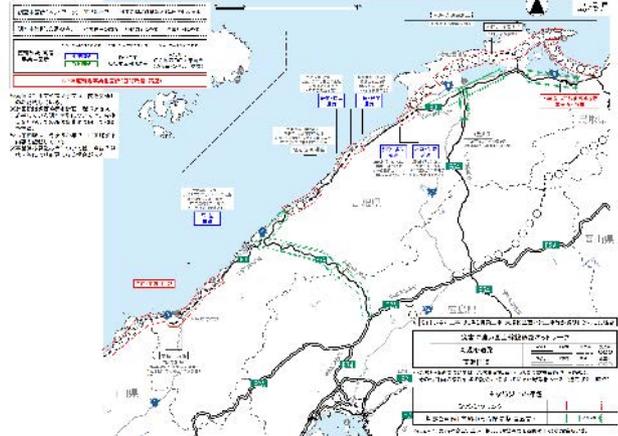
熊本震災関連

高速道路ミッシングリンク解消

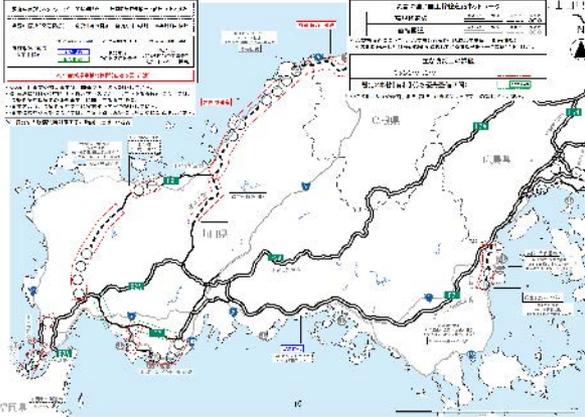
(東九州自動車道)



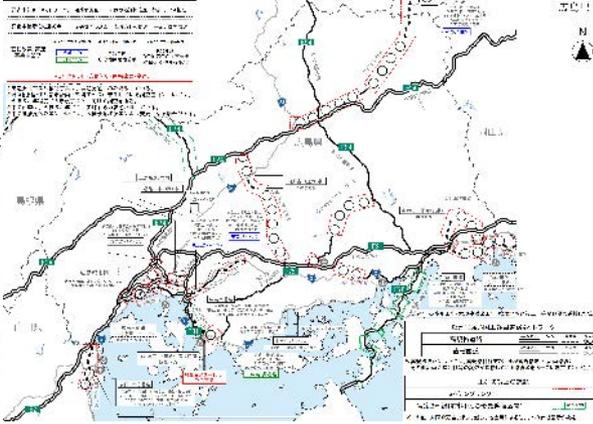
■国東に在る国土新幹線ネットワークの機能強化計画



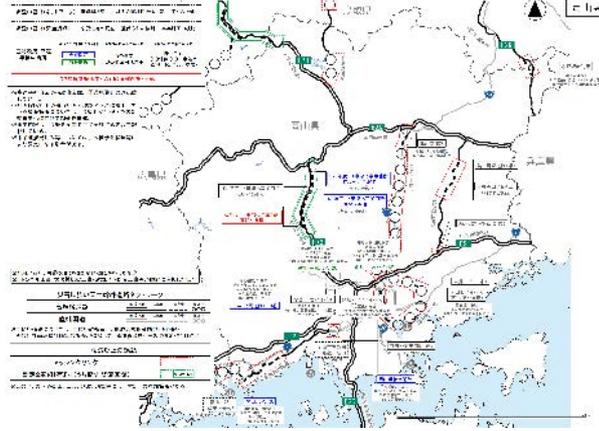
■国東に在る国土新幹線ネットワークの機能強化計画



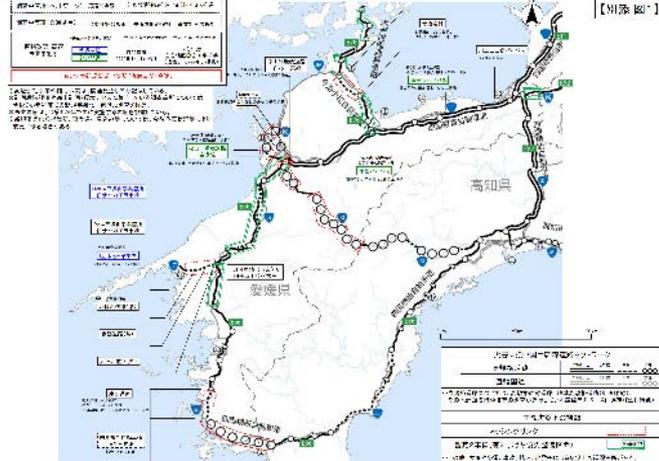
■国東に在る国土新幹線ネットワークの機能強化計画



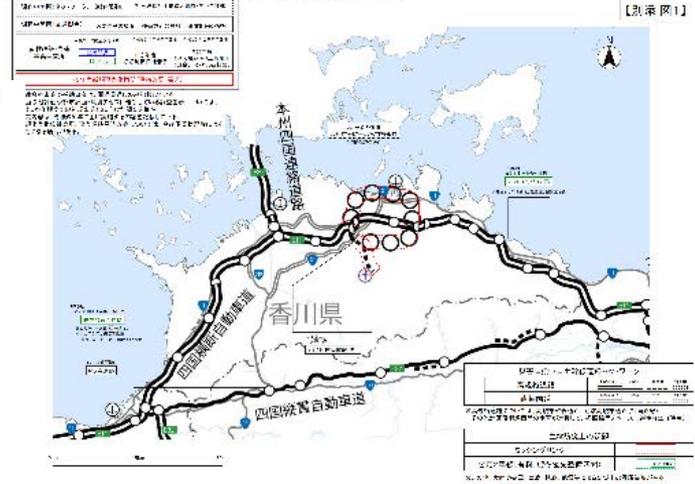
■国東に在る国土新幹線ネットワークの機能強化計画



■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

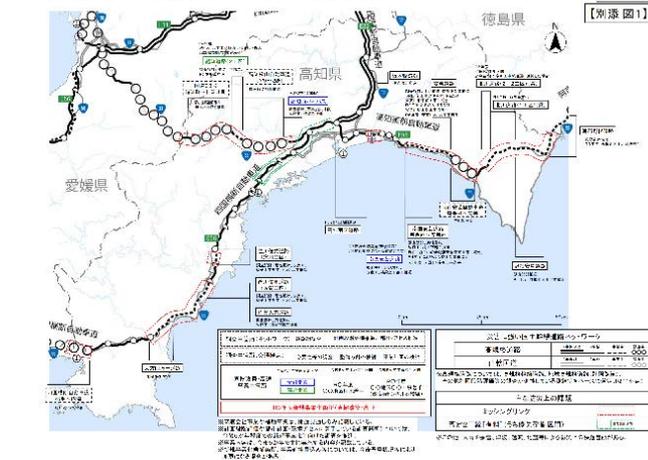


■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策



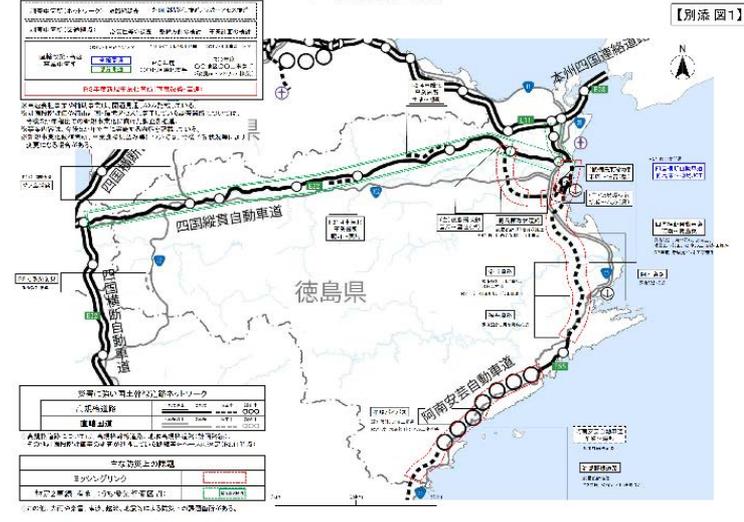
香川県
【別添図1】

■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策



高知県
【別添図1】

■災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策



徳島県
【別添図1】

II. 2022年3月期 業績予想

2022年3月期業績予想

(単位：百万円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (予想)
受注高	4,091	5,100
売上高	4,623	4,900
売上総利益	890	890
販管費	675	770
営業損益	215	120
経常損益	223	130
当期純損益	153	90

工事別受注高予想

(単位：百万円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (予想)
気泡コンクリート工事	3,152	3,980
地盤改良工事	897	1,120
その他工事	40	0
計	4,091	5,100

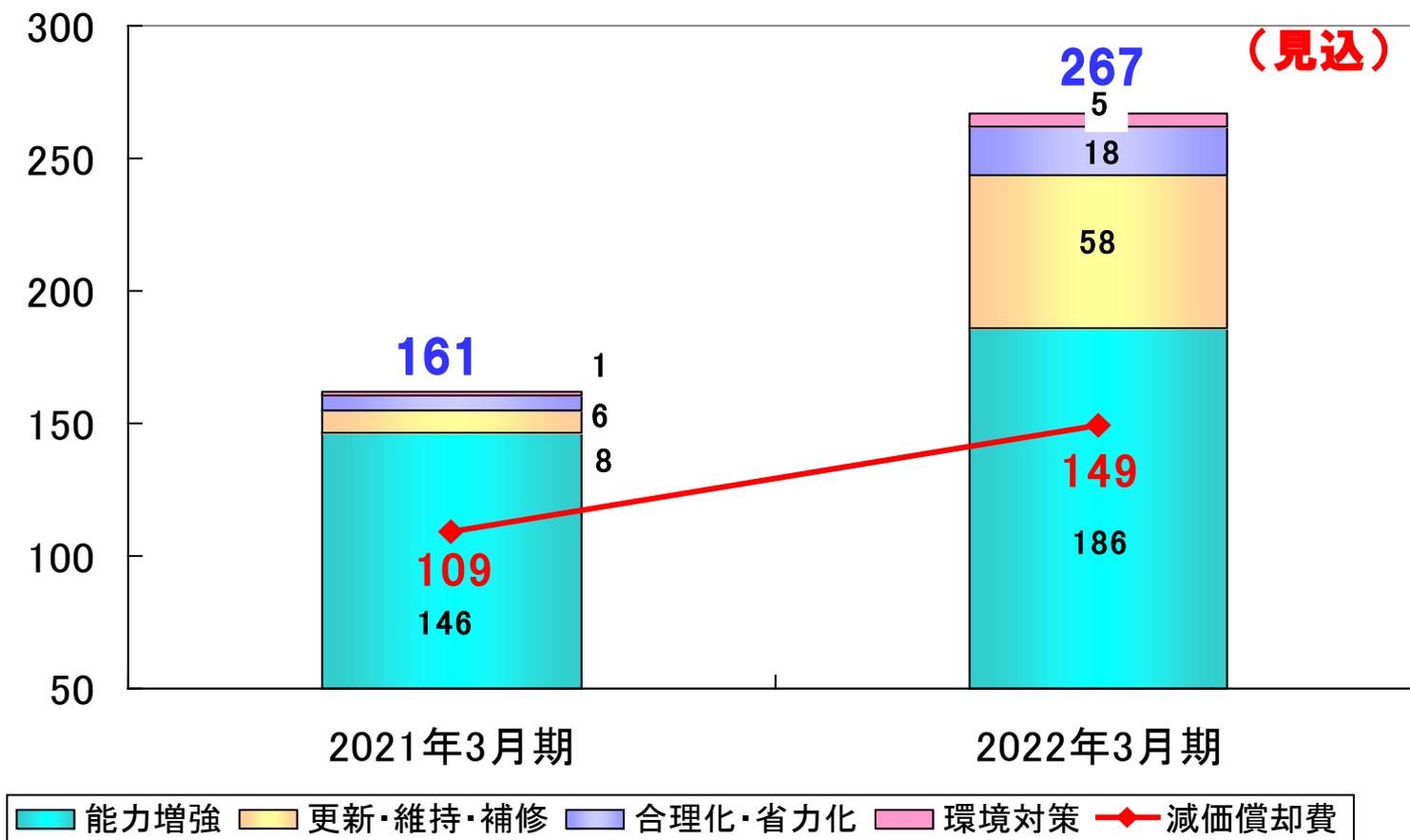
売上高予想

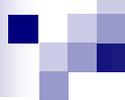
(単位：百万円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (予想)
気泡コンクリート工事	3,431	3,636
地盤改良工事	1,011	1,200
その他工事	150	14
商品販売	30	50
計	4,623	4,900

設備投資と減価償却費

(百万円)





2022年3月期 経営方針について

実現した開発技術 1/2

■ NLG工法 可塑性非エア系グラウト材充填工法

- 業界トップクラスの5,000mの長距離圧送が可能な空洞充填工法です。
- 可塑性の非エア系グラウト材で水中不分離性を有します。
- 今後拡大が見込まれるトンネル等インフラの補修補強市場に適した工法です。



水路トンネル施工イメージ



水中での材料の性状

実現した開発技術 2/2

- スィムグラウト 耐水性エアモルタル
エアモルタルの弱みである**耐水性**を強化した「水に強い」空洞充填材です。

- エアスラー 高流動性エアモルタル
セルフレベリングに近い**高流動性**を有するエアモルタル。



満水の管路充填試験の様子

当社の強みであるエアモルタルの新たな適用先を広げる材料として開発！！

本資料に関するご注意

本資料に記載されている当社の現在の計画、目標等過去の事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報に基づき作成したもので、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は様々な要因により、これら見通しとは大きく異なる結果になることもありえます。
